

## 早稲田大学 人間科学部 世界史 講評

出題形式	マーク式
試験時間	60分
特徴・その他	全問選択問題。大問5題、問題総数は47問で昨年より2問減少。設問Xは空欄補充形式の語群選択、設問Yは文中下線部についての正誤判定問題という形式は例年と変わらず。復活したり消えたりを繰り返している地図問題は今年は出題されず。全体として今年も昨年並みの難易度。

## 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	世界史史上で活躍した女性と女性の権利	<p>女性をテーマに古代から現代まで東西にわたって広く出題された。</p> <p>設問X A:マリア=テレジアの共同統治者ヨーゼフ2世は基礎項目。B:仏革命時の「女性宣言」は細かい。教科書・参考書は以前に比べると取扱いが減っている対象。ただ入試の世界では「人権宣言」と仏革命が生み出した近代市民社会が男性中心だったことは頻出分野である。正解は「ド=グージュ」。最低でも女性候補であるローザ=ルクセンブルクとの二択に持ち込みたい。C:アウン=サン=スー=チーは落としたくない。もともとよく出される人物だが、今年はミャンマーの少数派ムスリムであるロヒンギャの問題とからんで注目をあびた。</p> <p>設問Y ①: bは、イタリア半島でローマの支配下にはいった都市に対する分割統治を想起すれば誤りとわかる。c-リキニウス・セクスティウス法(前367)は「前4世紀」が正しい。d-グラックス兄弟が就任したのは「護民官」。②: b-英女王メアリ1世が結婚したのは皇太子時代の「フェリペ2世」。③: c-プロイセンのフリードリヒ2世は農奴解放令は出していない。プロイセンでまがりなりにも農奴解放が実現するのはシュタイン=ハルデンベルクの改革。④: d-「民衆を率いる自由の女神」は七月革命(1830)の際のバリケードを描いたもの。教科書で定番の作品である。⑤: 女性参政権実現の年代を聞く問題。ややこしそうだが、ドイツのヴァイマル憲法(1919)が見えれば即答できる。⑤: a-1919年当時の英首相はロイド=ジョージ。b-治外法権も関税自主権も回復している。山川用語集では「不平等条約撤廃」とあるのが該当する内容。c-チャドルは廃止されたが正しい。それ以外に宗教的とされる服装は男女にかかわらず廃止(禁止)された。エジプトでは民族運動の象徴とされたトルコ帽(フェズ)もトルコでは禁止された。</p>	標準
II	イランの歴史	<p>設問X (1): a「ローマ帝国」は基礎事項。これがササン朝だったら相手はビザンツ帝国となる。(2): d「エフタル」、(3): b「大アミール」、どれも基礎事項。(4): a「カフカース」。用語集などのトルコマンチャーイ条約(1828)についての説明中に「アルメニアを割譲」とあるのがこの部分。トルコマンチャーイ条約によってアルメニア人はロシアとトルコに分断されることになった。(5): d「アーリヤ人」は消去法でも正答可能。</p>	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
II		<p>設問Y ①:(オ)の「安息」はパルティアの漢字表記。②:(イ)「アフガン人」ではなく「ポルトガル」から奪取が正しい。③:(イ)バーブ教は「サイイド＝アリー＝ムハンマド」。ムハンマド＝アフマドはマフディー国家(1881～91)の指導者。(オ)イランで立憲制が廃止されたのは1911年末。④:(エ)国際石油資本にドイツは資本はない。⑤:(エ)イラン＝イスラーム共和国を敵視したアラブ国家としては隣国のイラク、サウジアラビアなどがある。</p>	
III	都市イスタンブルの歴史	<p>設問X A:正解はb「ボスフォラス」。こことつながっているエーゲ海側の細長い海峡がダーダネルス海峡。あわせて「両海峡」と称することもある。選択肢のドーバーとジブラルタルは圏外。B:c「セプティミウス＝セウェルス(位193～211)は「196年」という年代を鍵にして消去法で選ぶ。五賢帝(96～180)の二人(トラヤヌスとアントニヌス＝ピウス)と4世紀のディオクレティアヌスを除外すればよい。C:b「1453」は易しい。</p> <p>設問Y ①:b-アケメネス朝の建国者キュロス2世に注目すれば二択。次はカンビュセス2世とダレイオス1世の前後で判断。カンビュセス2世は2代目で前525年にエジプトを征服した王。ダレイオス1世は3代目である。②:a-「イッソス」は「カイロネイア」が正しい。b-「コリントス同盟」はカイロネイアの翌年(前337)にスパルタを除くギリシアの全ポリスが参加した同盟。スパルタが例外という点が受験世界史では定番。c-アレクサンドロスが師事したのは「アリストテレス」。③:a-「コロヌスの土地からの解放」は史実と逆。コロヌス土地緊縛令(332)を想起すれば即決。④:c「レパント海戦(1571)はスレイマン1世の子セリム1世(位1566～74)時代の出来事。⑤:c-「7世紀以降」のビザンツ帝国の公用語は「ラテン語」ではなく「ギリシア語」。⑥:b-「チューリップ時代」は「19世紀初め」ではなく「18世紀前半」。この種の時代設定の正誤はあいまいになりやすい。</p>	標準
IV	中国の画像石からみる歴史	<p>設問X (ア):中国で牛耕(牛犁耕)が始まるのはbの「春秋」時代。普及するのは戦国時代。同時に鉄(鑄鉄)製農具も登場した。(イ):c「劉秀」(光武帝)、(ウ):c「洛陽」、(エ):d「高宗」は基礎事項。(オ)の則天武後の没年は難しい。語群から高句麗滅亡(668)と安史の乱勃発(755)を除いて二択に絞る。</p> <p>設問Y ①:b-「麻」は「絹」が正しい。②:画像出土地は正面から挑むだけだと難しい。文中のヒントを落とさないようにしたい。図1については「陝西省北部」から地図上のEを選ぶ。図3については「高句麗」とあるからA(平壤付近)かB(鴨緑江沿岸)。この時点で二択に絞られる。図4については「唐の都近く」とあるのでF(長安)を選び解答にたどりつく。③:b-「青銅器」が誤り。青銅器はそもそも実用性は低く祭器・貨幣のような用途に用いられた。農業分野では鉄器の前は新石器である。④:a-「貊族」は「ツングース系」。c「骨品制」は新羅の身分制度。d-煬帝の高句麗遠征は失敗が正しい。⑤:a「ビザンツ帝国を冊封」は誤り。c「鞞鞞」はツングース系。d「桃鳩図」は宋の徽宗皇帝の作品。教科書・図版類の定番である。</p>	やや難

番号	出題内容	コメント	難易度
V	冷戦期の世界	<p>昨年の大問Vは「EUとイギリス」。現代史が定着した感がある。</p> <p>設問X A:ポーランドは易しい。B:公民権法の年代だが、語群は1年刻みで細かい。年代そのものをはっきり覚え確信をもって解答したい。C:五月革命は万一失念しても消去法で簡単に正解が得られる。</p> <p>設問Y ①: a-通貨改革は西側3か国で実施が正しい。b-東西ドイツは「同時に成立」ではない。ドイツ連邦共和国(西独)が49年5月、遅れて49年10月にドイツ民主共和国(東独)が成立した。d-ベルリン封鎖(1948.6~49.5)は通貨改革に反発して実施。亡命阻止はベルリンの壁(1961~89)。②: aの抗日民族統一戦線成立は1937年。実質的には前年12月の西安事件で成立していた。b-ダンバートン=オクス会議は、米英ソ中の4カ国会議。初めに米英ソで、ついで米英中で会議が開かれた。d-西側主要国の中華人民共和国承認は受験世界史の隠れた定番。英がいち早く1950年に承認(香港問題があったため)。次いで仏(ド=ゴール政権)が1964年に承認。米は1972年のニクソン訪中を経て正式承認は1979年である。③: b-フルシチョフは第一書記(1953~64)・首相(1958~64)とずれかせある。有名なソ連共産党第20回大会(1956)当時は第一書記だった。c-ソ連のミサイル基地建設は1962年。キューバ革命(1959)→「進歩のための同盟」(1961.3)→社会主義宣言(1961.5)→ソ連のミサイル基地建設・キューバ危機(1962.10)という展開である。d-部分的核実験禁止条約(1963)では大気圏内・大気圏外・水中を禁止したが地下はのぞかれた。④: a-ソ連の核保有は1949年。c-西欧連合結成の契機は「チェコスロヴァキア=クーデタ(1948.2)である。d-マーシャル=プラン発表は1947年6月。⑤: キング牧師が暗殺されたのは1968年、公民権法成立は1964年。⑥: d-米軍のベトナム直接介入(北爆開始)は1965年。介入の直接の口実となったのが前年1964年8月のトンキン湾事件である。</p>	標準

### [総合コメント]

設問Xの空欄補充問題には取り組みやすい問題が多い。ここでは絶対に取りこぼしはゆるされない。設問Yの正誤判定問題は難易さまざまだが、かなり細かいポイントが出題されている。ただ細かいとは言っても、山川用語集の説明文の中にポイントとなる部分がかかれている場合がほとんどで、受験生の一般的ツールを逸脱して出題されることはまずない。根気が必要だが、用語集を熟読・玩味して(何かにつけて参照し、その際に細かいポイントに注目しておく)おく必要がある。とくに現代史の年代は要注意である。また、同種の正誤判定問題をまとめた量こなすことによって消去法の要領は確実に上達する。最後はたくさん問題を知っているもの勝ちといえよう。